

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	飛騨市立宮川小学校		
実 施 期 間	平成26年10月26日(日)～11月10日(月)		
実 施 概 要	①宮川町文化祭参加 [10月26日(日) 全校児童参加] ②授業参観・PTA講演会 [10月29日(水) 全校児童・保護者] ③芝桜の植栽 [11月4日(火) 全校児童参加] ④三川原用水の見学 [11月10日(月) 4・5・6年生参加]		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 ■歴史 ■文化 □産業 □その他		
	公開の方法 ■授業公開 ■成果発表 □交流活動 ■講演会等 ■地域行事等参加 ■その他		
来 校 者 数	保 護 者	34 人	計 約134 人
	地域関係者	約100 人	
実 施 状 況	※宮川町文化祭に全校で参加し、学習やふるさと学習への取組の成果を発表した。また、地域の方々の発表や展示を参観した。 【午前】・関西電力の電気教室 ・地元青年団「自然を守る会」の方々による講話 【午後】・合唱発表と宮川古大尽の発表 ・地元の方々の芸能発表や展示作品の鑑賞 ※授業参観とPTA講演会 ・各学級の「算数」の授業参観 ・『いのち』について考える講演会 ※三川原用水の見学を、4・5・6年生で行った。		
成果及び課題	※『自然を守る会』の講話では、地元で働く青年の方々が宮川を誇りに思い、大事に守っていくために活動してみえることを知り、宮川について見つめたり話し合ったりする機会になった。午後の発表では、音楽での学習発表としての全校合唱と「宮川古大尽」を披露した。宮川町「伝統芸能保存会」の方に習って練習をしてきた成果を発表し、町内の方々と共に、地域の文化や芸能に触れることができた。 ※日赤病院の助産師さんの講演「みんな みんな 生まれてきてくれてありがとう」の講演を親子で視聴した。「親子のつながりが非常に奇跡的なことだと改めて感じて、子どもとの日常生活を今以上に大切にしていきたいと感じた。」「子どもが生まれたときの喜び・感動を振り返り一層子どもがいとおしくなる、そんな時間を子どもと共に過ごせてとてもよかった。」等の保護者の感想があった。親子で『いのち』について考える貴重な時間であった。 ※地元の方を講師として、三川原用水を見学した。地域の人々のくらしをよくする為に、大変な努力をして用水を引いた人々の苦労を、実際に用水のトンネルを歩くことで身をもって感じる事ができた。「どの地域にもこういう先祖の努力の足跡が残っている。」という講師の方の言葉に、児童は自分の住んでいる町内の地域へ目を向けていた。		